

令和6年度 1級土木施工管理技術検定 第二次検定<総評>

10月6日(日)に実施された、令和6年度の「1級土木施工管理技術士 第二次検定」の全体的な難易度はやや難しかったと思います。

必須問題は新しく出題された問題が多かった一方、選択問題は過去問ベースの出題となっており十分対応可能でした。

試験問題の見直しがあったとは言え、**第一次検定の内容を含む過去問**(必須問題の問題2・3は第一次検定の過去問から出題)をただ解けるようにするだけでなく、理解し自分に落とし込むことができれば、無理なく合格ラインに到達する内容でした。

選択問題については、選択問題[穴埋め]は問題5と問題6、選択問題[記述]は問題9と問題11が解きやすかったと思います。

【問題1 やや難しい】

工事概要については例年と変わりありませんでした。(施工管理上におけるあなたの立場が(3)→(2)へ移動していたくらい)

設問1の安全管理は、令和4年と同様の内容でしたが、(1)で技術的課題と検討項目、(2)で対応処置とその評価となっており、技術的課題と検討項目が1つになっていたため、例年通りの行数で用意していた場合、考えて短縮させる必要がありました。

設問2の施工計画は新規問題で、この問題こそ、経験記述の丸暗記防止を対策したものでした。

(1) 施工計画立案時に先立ち行った現場の事前調査で判明した施工上の課題

(2) (1)で記述した課題について施工計画の作成にあたり反映した対応処置とその評価

(1)は課題のみで検討項目を書く必要はありませんでした。この問題が非常に難しかったと思います。

【問題2 難しい】

安全ネットの問題は新しい問題であり、1次検定の令和4年 午後の部 No18 や令和3年 午後の部 No11 等の過去問と少し被った問題でした。

2次検定から受験された方は非常に難しかったと思います。

【問題3 難しい】

施工体制台帳の問題も新しい問題であり、1次検定の令和4年 応用能力問題 No22 や令和3年 応用能力 No22 等の過去問と少し被った問題でした。

この問題も実務を問われる内容の問題でした。

資格の学校 TAC

令和6年度 1級土木施工管理技術検定 第二次検定

【問題4 やや難しい】

暑中コンクリートの問題は、記述形式で過去に出題されておりましたが、穴埋め形式では初めて出題されました。そのため、(イ) スランプ、(ハ) 一体性、(ニ) 凝結 の部分は初めての出題のため、過去問の対策をしてもやや難しかったと思います。

【問題5 やや易しい】

土の締固めの品質管理の問題は、令和4年 問題5の類似問題でした。
(ホ) 当初 の部分は初めて出題されたため、それ以外の過去問と類似である4問が正解できていれば上出来です。

【問題6 やや易しい】

移動式クレーンの問題は、過去に現場状況図を見て答える問題が散見されていましたが、穴埋め問題としては平成21年以来の出題でした。

平成21年の空欄とは被っておりませんが、移動式クレーンの安全対策についてしっかりと学習していれば、3～4問は解けたと思います。

【問題7 難しい】

情報化施工の問題は、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」から出題されるもので、近年、出題傾向が増しています。しかし、過去問の空欄補充箇所と被らないことから、過去問の対策だけではほぼ解けない問題だったため、選択しなくてよい問題でした。

【問題8 やや易しい】

切梁式土留め支保工内の掘削の問題は、令和4年 問題8と今回の問題①、④が被っていたため、過去問をしっかりと学習していれば、この2つを解答すれば、高得点が取れたはずで

【問題9 易しい】

コールドジョイントの発生対策の問題は、令和4年 問題9 ②と類似です。コールドジョイントに対する問題も過去問で出題されているので、しっかりと学習しておけば高得点が取れたはずで

【問題10 やや難しい】

足場の組立て、解体、変更後の点検者を指名して点検させる項目の問題は、初出題でした。労働安全衛生規則 第567条 第2項に9つの点検事項が記載されており、いずれか2つを解答すればよいものです。過去問の出題内容とは被っていないため、選択しなくて良い問題でした。

資格の学校 TAC

令和6年度 1級土木施工管理技術検定 第二次検定

【問題 11 易しい】

騒音、振動を防止するための対策又は調査についての問題は、令和2年 問題 11 の類似問題で、令和2年は「具体的対策」のみでしたが、今回の問題は「具体的な対策又は調査」という内容で、「調査」が加わりましたが、令和2年の問題のように具体的対策を5つ記入すればよい問題でした。

2024年10月7日

TAC 土木施工管理技士講座

後日、参考解答も公開いたします。

別途、Web フォームよりご請求ください。

即時でメール配信させていただきます。

【2024年10月下旬予定】